

組報 多摩 No.18  
発行日 2018年11月1日  
浄土真宗本願寺派  
東京教区 多摩組  
事務所/西照寺内  
東京都調布市若葉町1-39  
〒182-0003 TEL03-3300-7734  
<https://tama-so.org/>

## 第39回東京教区仏教壮年会連盟 結成記念日研修会 ご案内 と お誘い

2019(平成31)年  
2月17日(日)~18日(月)  
山梨県石和温泉「ホテル石庭」



(展望露天風呂)

### 仏教壮年会

仏教壮年会は、社会機構の中核をなす壮年層が、それぞれの家庭や職場、地域社会の中で、親鸞聖人のみ教えに結ばれる「朋友(ほうゆう)」の輪を拡げて、ともに心豊かに生きる社会の実現をめざす集まりです。

一九六二(昭和三七)年、親鸞聖人七百回大遠忌を契機に門信徒会運動が展開され、その中で運動を担う強力な「門信徒の核」として、壮年層を中心とした仏教壮年会の必要性が注目され始めました。

その後、その組織化を推進するために、全国で六百単位の仏教壮年会結成をめざしました。

門信徒会運動が進む中で、さらなる拡充と飛躍をはかるために、わが東京教区においては、一九七九(昭和五四)年に教区の仏教壮年会が組織され、教区内の寺院ごとの仏教壮年会の活動に新たな拡がりが始まりました。

今回の結成記念日研修会は、壮年会の会員らが実行委員会を組織し、自ら企画し、募集や運営実施を行い、自他共に心豊かに生きることのできる社会の実現をめざす研修会です。

一泊二日の日程で、募集人員は二五〇名、参加費はお一人一万八千円です。

是非、お誘いあわせてご参加いただきませうようお願い致します。

#### 日 程

2月17日(日)

開会式

記念講演 (I)

講題 『しあわせ・苦』

講師 安方哲爾師

(大阪教区南郡組正満寺住職・輔教  
・本願寺派布教使)

フルート演奏会

懇親会

2月18日(月)

晨朝勤行

勤行 正信偈草譜六首引・法話

仏壮活動発表 (三ヶ寺程度)

記念講演 (II)

講題 『しあわせ・苦』

講師 安方哲爾師

(大阪教区南郡組正満寺住職・輔教  
・本願寺派布教使)

閉会式

(※内容は変更になる場合がございます)

## 子ども食堂かくしようにじ

木々に囲まれた境内が、たくさんの子どもも用自転車やチャイルドシートが着いたちよつと大ぶりの電動自転車であまる。「こども食堂かくしようにじ」が開催される日の覚證寺では見慣れた夕方の光景だ。

◇ 子ども食堂は、子どもだけでも安心して入れて、無料か安価でご飯を食べられる場所といわれる。子どもの貧困や孤食の問題などへの関心が高まるのにもない、そこに取り組む市民活動として、数年前から報道で取り上げられるようになっていた。

共感を得やすい活動内容に加えて、ネーミングの良さも手伝って、こども食堂は増え続け、とくにこの二年間でその数は急増した。平成二八年五月の調査で全国に約三二〇カ所だった食堂が、今年の三月には二千三百カ所近くになったとされる。

それだけ数も多くなり、広く知られるようになったこども食堂だが、活動の目的、規模や実態などは食堂によってずいぶん異なる。数名の子どもを自宅に迎える家庭的な所もあれば、百人規模の食事をふるまっている食堂もある。食べるのもままならい子や行き場のないつらい状況にある子らを毎日受け入れている場所があるかと思えば、お金や困難の有無にかかわらず誰もが来られる地域の居場所として月に一度活動をしている所もある。

貧困支援型、地域の居場所型などと分類

調布市 覺證寺住職

ほそ かわ まさ ひこ  
細川 真彦

されることもあるが、実際に即して言えば、どこの食堂も何らかの形でその両方の機能を有していると考えられる。

◇ では、当寺での食堂の様子を紹介しよう。

「こども食堂かくしようにじ」は地域の人と一緒に運営している。開催は第一・第三木曜の毎月二回。会場は本堂地下にある多目的ホールだ。ほかに本堂を宿題・勉強の部屋、一階和室を幼児連れ母子のフリースペースとして開放している。

開催日の午後二時、ボランティア・スタッフが集まる。毎回十五名ほどのスタッフが調理から配膳、子ども相手、片付けなどを分担しておこなっている。登録しているボランティアは全部で約五十名。スタッフの知人のほか、ネットなどを見て応募してきた中高年の女性や学生さんが多い。

参加者の受付は午後四時半から。早めに来て宿題をする子もいれば、ボードゲームなどで遊ぶ子もいる。来ているのは大半が近くの小学校に通う子どもたち。ほとんどが子どもだけで、仲間同士で連れ立って食べに……というより遊びに来る。一部の保護者や近所の保育園に子どもを預けている親子連れなどもあわせると、今では毎回七十〜百人ほどの参加者が足を運ぶようになってい

◇

食事開始時間の五時を過ぎると、子どもたちは交替で席についてワイワイしゃべりながらご飯を食べはじめ。バラエティーに富んだメニューは当食堂の自慢の一つだ。有難いことに、野菜は協力企業が毎回寄付してくださる。前日に届くその野菜の種類と量を確認して、料理担当幹事がメニューを考える。肉や魚、足りない野菜などは購入しているが、お米はすべて寄付でまかなえる。こども食堂への関心は高く、食材に関しては多くの寄付が集まるので経費面での心配はほぼない。

多くの子は食事を終えた後でも帰らず、保護者が迎えに来るか、七時半で閉店になるまであちこちで輪になって遊んでいる。終了時間になると、お迎えのない小学生はスタッフが家まで送る。そして会場の片付けをし、当日の振り返りを終え、スタッフが解散するのはたいい九時半頃。これを月二回するのは確かに大変だ。



いただいたお野菜



ある日のスタッフ

だが食堂のある日は、ふだんは静かな境内やお堂におおぜいの子どもたちの笑い声が響く。さらに、子どもだけでなくスタッフの大人も、にぎやかで楽しい時間を共にする。こども食堂は「子どものために」はもちろん「大人のために」もなる地域みんなの居場所でもある。子どもから高齢者まで誰もが安心して集える地域の居場所が求められている今、お寺は社会から大きく期待されている。こども食堂はそのニーズにぴったりはまる活動だといえる。これを

食事の様子



ある日のメニュー



正門の看板



自転車いっぱい

お寺で開催する意義は大きい。私たち浄土真宗本願寺派では、宗門全体で取り組む重点プロジェクトの目標を、今年度から「貧困の克服に向けて～Dana for World Peace～子どもたちを育むために」と定めた。難民の子どもへの国際的な支援、国内で貧困に苦しむ子への支援、こども食堂など貧困克服に向けた活動をする団体・寺院への支援、などを目的として全カ寺で募金を始める。

もちろん活動は募金だけにとどまらない。学びや情報の拡散、サロンやカフェなどの居場所づくり、学習支援やこども食堂まで、関わり方はいろいろある。

自分たちのお寺で何ができるのか。まずは住職・僧侶・寺族・門信徒がともに学び話し合うところから一歩は始まるだろう。そしてその一歩は、社会に寄与するだけでなく、人々とご法義とが結びつく新たなご縁へと確実につながっていくはずだ。



おいしいね

事実、こども食堂があることで、覚證寺には、これまで縁のなかつた老若男女が日常的に通ってきているのだから。

# 総代世話人会

多摩組総代世話人会代表

つちだ よしゆき  
土田 良幸

多摩組総代世話人会は、現在二十一名の実行委員で活動しています。

東京教区仏教壮年会連盟結成記念研修会、第十期連続研修会等、他の教化団体との活動に協力しています。

## 東京教区門徒総代連絡協議会

①第一回門徒総代・世話人会

五月二十九日(火) 午後三時

於築地本願寺

・本年度の行事について

・門徒総代・世話人一日研修会について

・その他

②第二回門徒総代・世話人会

八月二十四日(金) 午後三時

於築地本願寺

・門徒総代・世話人一日研修会のテーマ、講師、役割分担他

③第三回門徒総代・世話人会

平成三十一年一月二十四日(木) 午後三時

午後三時～開催予定

## 東京教区門徒総代・世話人一日研修会

九月九日(日) 午前十時

於築地本願寺蓮華殿

午前・講題「門徒総代として」

講師 山本政秀師(東京教区教務所長)

午後・講題「寺院と門徒総代について」

講師 熊原博文師

## 第一連区門徒総代会

十二月六日(木)～七日(金)

(埼玉組正善寺住職、本願寺派布教使)

於長野県ホテル国際

講師 小笠原正仁師

(同和教育振興会評議員・元中央相談員・大阪芸術大学非常勤講師)

## 多摩組総代世話人会総会の開催

平成三十一年三月に開催予定

# 仏教壮年会

多摩組仏教壮年会連盟理事長

はぎはらかつお  
萩原 勝生

第三十九回東京教区仏教壮年会連盟結成記念日研修会の担当組(多摩組)としての諸準備に取り組んでいます。

## 東京教区仏教壮年会連盟総会・大会

五月十九日(土) 築地本願寺

## 第三十九回東京教区仏教壮年会連盟

結成記念日研修会

期日 二〇一九(平成三十一)年

二月十七日(日)～十八日(月)

一泊二日の日程

会場 山梨県石和温泉「ホテル石庭」

講題 「しあわせ・苦」

講師 安方哲爾師

(大阪教区南郡組正満寺住職・輔教)

・本願寺派布教使)

参加費 お一人一泊二食付 一万八千円

募集人員は二五〇名を目標としており、多くの方々のご参加をいただき、意義のある研修の実施を計画致しております。

## 多摩組ビハーラ活動推進協議会

昨年より、次の講演会を開催企画し研修を深めております。

第七回 講演会 於光源寺香ホール

平成二十九年

十一月三十日(木) 午後一時半

「人の死と向き合う医療～医療チームに参加している僧侶の話～」

講師 長倉伯博 先生

(鹿児島県善福寺住職・布教使・国立滋賀医科大学非常勤講師)

第八回 講演会 於光源寺香ホール

平成三十年

三月十三日(火) 午後一時半

「在宅訪問看護による看取り」

講師 金沢二美枝 先生

(株) つつじヶ丘在宅総合センター代表

取締役・看護師)

第九回 講演会 於光源寺香ホール

平成三十年

九月十三日(木) 午後一時半

「病氣と共に自宅で暮らすこと」

講師 高世秀仁 先生

(東京留米なごみ内科診療所・在宅訪問緩和ケア医)

第十回 朗読&話し合い 於光源寺香ホール

平成三十一年

一月二十九日(火) 午後一時半

「百万回生きたねこ」朗読

「だいじょうぶだよ、ゾウさん」朗読

朗読 穂積はじめさん

聴いた後に参加者で感想を述べ合う

(佐々木)

# 仏教婦人会

東京教区仏教婦人会連盟多摩組代表

鳥飼美枝子  
とりがみみえこ



光源寺門徒  
鳥飼美枝子

今年度多摩組代表をお受けして六か月が経ちました。教区の委員会、多摩組の役員会、光源寺の役員会、またビハラー活動と多忙な日々ですが、このご縁を頂いたことに心から感謝申し上げます、仏教婦人会活動に微力ながらお手伝いさせて頂きたいと思えます。

## 多摩組仏教婦人会の活動

総会 五月八日(火)  
調布クレストンホテルにて  
研修会 十月十一日(木)【公開講座】  
調布文化会館「たづくり」にて  
やなせ なな 師

(奈良県教恩寺住職)

シンガーソングライター)  
講題 「支え合い 光輝くいのち」

## 東京教区仏教婦人会の活動

総会(五月二十三日)をはじめ、年四回の委員会、一泊または一日研修会、若婦人聞法

の集い、築地本願寺報恩講団体参拝等を実施するとともに、多摩組代表としてダーナ部会に所属し、ダーナ募金活動と老人ホームあそか園の奉仕活動を行っています。

これからも皆様のご協力とご参加を切にお願いいたします。

## 門徒推進員連絡協議会

門徒推進員連絡協議会世話人

あさきじゅんざぶろう  
麻木純三郎

メンバーは二十五名で変わりません。

### (1) 読書会・話し合い会

昨年引き続き「仏教聖典」(仏教伝道協会)を読んでいます。仏教について、改めて学び話し合いを行っています。

### (2) 第一連区門徒推進員実践運動研修会

二年ぶりの開催。七月七日(土)〜八日(日)、新潟別院(長岡市)で開催されました。講師は前回と同じく内田正祥師(元連研中央講師・東海教区三重組正覚寺住職)。

寺院活動に於ける門徒推進員の役割を話し、問題提起されました。班別話し合いが行われ、熱心な討議が実施されました。

次回は北海道教区(札幌別院)主催で、二〇二〇年開催予定。

### (3) 千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要に出席

昨年は台風のため中止となりましたが、今年は例年通り、九月十八日(火)国立千鳥ヶ淵全戦没者墓園で厳修されました。

多摩組からは多くの関係者が出席しました。

### (4) 東京教区門徒推進員連絡協議会

#### 一泊研修会

十月八日(月)〜九日(火)伊香保温泉ホテル小暮で行われました(担当群馬組)。

参加者百名。テーマは「門徒推進員の役割・念仏者の生き方を通して」。講師は藤本真教師(茨城東組常教寺住職・中央教修研講師)

一日目は講義、班別話し合い。二日目は、多摩組・都留組・群馬組の活動報告、話し合いの各班発表、まとめの講義と内容の濃い充実した研修会でした。

### (5) 多摩組連続研修会のお手伝い

二月十七日(土)より第十期連続研修会が始まりました。第一回は二月十七日(土)西照寺、第二回は四月二十一日(土)圓福寺、第三回は六月二十三日(土)覺證寺、第四回は十月二十日(土)應善寺とすでに四回が終了しました。

受講者二十名。門徒推進員は、受付・司会・記録・会場整理等のお手伝いを行っています。

### (6) 連研のための研修会

毎年秋に東京教区主催で、連研のための研修会が開催されます。今年は十月十一日(木)築地本願寺で開催され、出席いたしました。教区内の住職、僧侶、門徒推進員が集まり、連続研修会について研修を深めました。

## お知らせ

多摩組正善寺住職 佐々木賢秀師  
昨年九月二十三日(二)往生 七十六歳

## 中ブロック門徒子弟研修会

### お坊さんとさまーきゃんぷ

神奈川県「藤野芸術の家」にて

今年の中ブロック門徒子弟研修会は、神奈川県相模原市「藤野芸術の家」で開催されました。

八月二十日の朝、九時半から築地本願寺の本堂で開会式。その後、築地本願寺を出発しておよそ一時間半ほどで「藤野芸術の家」に到着。

到着後、お世話になる宿舎の方にご挨拶。その後、みなでお昼のお弁当をいただき、ゲーム大会。大人も子供もひとしきり駆けずり回りました。

その後、宿舎へチェックインし、そのまま水着に着替え、三時頃から川遊び。水温が低く少し寒くも感じましたが、皆楽しそうに遊んでいました。その後、冷えた体を入浴で暖め、夕食のBBQ。

今年の子供達は例年よりも沢山食べてくれたので、残り物も少なく、子供達も満足そうでした。

BBQ終了後、そのまま「夜の集い」へ。子供達の為に考えた宝探しゲームでしたが、思いのほか大人も一緒になって楽しんでいたように思います。

つどいの最後に、夜のご法話をして頂き、みんなそれぞれの部屋に戻り九時就寝。その後、スタッフ会議を終え、一日目は無事終了しました。



緊張の開会式(築地本願寺本堂)



なんかないかな(川遊び)



みんなで元気なジャンプ(藤野芸術の家)

二日目は六時起床、六時半に仏さまにお参り(お朝事)をし、朝のご法話を聞きました。その後、朝食・部屋の片付けと清掃を終え、その足でクラフトへ。クラフトは、一〜三年生までの低学年は木工、四〜六年生はサンドクラフトをしました。子供達は思いの外、こだわりを持って取り組んでいた様に思います。

その後、昼食をいただき、宿舎へお礼のご挨拶をして、バスで築地本願寺へ向けて出発。三時頃に築地本願寺に到着。本堂で閉会式を行いました。

閉会式では、サマーキャンプの修了証と記念品が渡されて、今回の日程を無事終了しました。

今年は、子供が三十三名、リーダーと大人が三十七名、合計七十名の参加者がありました。都会の喧騒から離れ二日間、これと言って大きな怪我や病気もなく、子供達も大人もそれぞれに自然を楽しんでいたように思いました。

このサマーキャンプを毎年楽しみだという子供達もいる中で、いかに夏の思い出を作ってもらえるのか、来年もまた来たいと言ってもらえるのか、当たり前の様でなかなか難しい事ではありますが、そこに今後のサマーキャンプの未来はあるように思いました。(鳴海)

## 住職に聞きました

### お寺を訪ねて

だいおんじ  
大恩寺(八王子市寺田町)



前住職 岡本信之師 と 現住職 岡本信悟師

唯信山大恩寺は、京王線めじろ台駅からバスで約十分の八王子市寺田町にあります。前住職岡本信之師・現住職岡本信悟師・前坊守様の三名が迎えて下さり、本堂で参拝した後、お話を伺いました。前住職、岡本信之師は豊島区南長崎の誓願寺で育ち、十年間の米国ハワイでの開教使生活を辞して移住し、昭和五七年に日野市百草に布教所を開設、昭和六十年日野市多摩平に

寺院を建立、平成三年に現在の地に移転、本年三月三十一日に長男の岡本信悟師に住職を継承し住職を退任しました。

大恩寺の山号は「唯信仏語」の唯信山、寺号は玄奘三蔵の大慈恩寺より頂き、山門には、『仏説無量寿経』からの「和顔愛語(わげんあいご)」という言葉を掲げいつも和やかなお顔で思いやりのことばを motto としていきます。

寺院内一階には個人型納骨壇、家族型納骨壇、一時預骨納骨壇、二階には家族型納骨壇があり、敷地内に無量寿堂(合葬墓)があります。

現住職は前ご住職の長男岡本信悟師で信悟師はハワイで生まれ、小学校二年の途中で日本に移住、学習院大学法学部政治学科卒業後大阪の行信教校に八年間浄土真宗の教えを学び平成十九年よりハワイにて海外開教使を勤め平成二十八年春大恩寺に戻りました。新任にあたり、前ご住職が常に標榜してきた「聞法道場」しての大恩寺の存在意義を引き継ぐ決意との事です。

お寺の法要と行事は、毎日午前九時から朝のお勤め、第二土曜日法座会、婦人会、勉強会(一般仏教系・浄土真宗系が中心で講師は住職と上野隆平師)、第四日曜日の日曜法座会(ご講師高慈照和上)、祥月命日法要、元旦会、三月春季彼岸法要、四月花まつり、五月降誕会、七月初盆法要(天岸浄円師)、八月盆法要(内藤昭文師)、九月秋季彼岸法要(山本撰叡師)、十一月報恩講(田中教照師)とご講師をお迎えして法要を開催しています。

茶道教室、ゴルフコンペ、一泊研修旅

行、本山参拝旅行、北米やハワイ別院参拝旅行や、みんなで学ぶ認知症講座等を開催、すでに行っているホームページ、ブログ、フェイスブック、隔月発行の寺報等を活用し地域との交流、寺院内のバリヤフリ化をすすめる、だれでも気軽に立ち寄れる敷居の低いお寺を目指しているとの事でした。

これからも、ご住職、前ご住職、坊守様、前坊守様のご協力で幅広い方々に浄土真宗の素晴らしい教えを広めて頂きたいと願うと共にご健勝とご活躍を念じながらお寺を後にしました。

追記 日曜法座会の講師 高田慈昭師は本年八月二十三日に八九歳でご往生されました。

(麻木、松田、萩原、土田)



大恩寺本堂

西本願寺 (京都・本山)

〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル本願寺門前町

電話 075(371)5181

FAX 075(351)1211

築地本願寺・東京教区教務所

〒104-8435 東京都中央区築地3丁目15番1号

築地本願寺電話 03(3541)1131

教務所電話 03(3541)1666

東京教区多摩組寺院所在地

調布市

**光徳寺** (こうとくじ) 〒182-0003  
調布市若葉町1-38-27  
TEL03(3300)6431 FAX03(5384)3344  
(法座:不定期 お問い合わせ下さい)

**明西寺** (みょうさいじ) 〒182-0003  
調布市若葉町1-43-5  
TEL03(3300)1901 FAX03(3300)2681  
(法座:10日前後婦人会 1.4.10月壮年会)

**延浄寺** (えんじょうじ) 〒182-0006  
調布市西つつじが丘2-30-1  
TEL03(3326)7337 FAX03(3326)5037  
(法座:不定期)

**長専寺** (ちょうせんじ) 〒182-0033  
調布市富士見町1-35-4  
TEL042(482)3411 FAX042(498)1105  
(法座:不定期)

**西照寺** (さいしょうじ) 〒182-0003  
調布市若葉町1-39  
TEL03(3300)7734 FAX03(3300)7794  
(法座:毎月8日・第4土曜 親鸞会)

**光西寺** (こうさいじ) 〒182-0003  
調布市若葉町1-44-2  
TEL03(3300)5054 FAX 同左  
(法座:不定期)

**光源寺** (こうげんじ) 〒182-0006  
調布市西つつじが丘2-30-11  
TEL03(3300)0881 FAX03(3308)6289  
(法座:隔月奇数月 お問い合わせ下さい)

**覺證寺** (かくしょうじ) 〒182-0033  
調布市富士見町1-35-5  
TEL042(482)5556 FAX042(480)0166  
(法座:第1土曜日・聖典学習会 月1回)

**正善寺** (しょうぜんじ) 〒182-0003  
調布市若葉町1-42-5  
TEL03(3300)6064 FAX03(3300)6687  
(法座:第1日曜日 (1日なら8日))

**安養寺** (あんようじ) 〒182-0003  
調布市若葉町1-44-5  
TEL03(3307)5605 FAX03(3307)5496  
(法座:第1日曜日)

**圓福寺** (えんぶくじ) 〒182-0022  
調布市国領町1-10-11  
TEL042(482)7955 FAX042(481)4734  
(法座:不定期)

国立市

**應善寺** (おうぜんじ) 〒186-0002  
国立市東2-2-1  
TEL042(572)0043 FAX042(572)0148  
(法座:毎月第1土曜日 門徒会:偶数月中旬の日曜)

立川市

**光西寺** (こうさいじ) 〒190-0021  
立川市羽衣町3-20-16  
TEL042(522)3413 <http://www.kousaiji.com/>  
(法座:毎週金曜晚又は土曜昼 各種仏教講座)

小平市

**照恩寺** (しょうおんじ) 〒187-0041  
小平市美園町3-23-20  
TEL042(341)2935 FAX042(347)4122  
(法座:毎月13日・第1土曜・第4土曜)

青梅市

**浄弘寺** (じょうこうじ) 〒198-0036  
青梅市河辺町8-19-8  
TEL0428(32)1769 FAX0428(32)2010  
(法座:第3土曜日)

八王子市

**専念寺** (せんねんじ) 〒192-0063  
八王子市元横山町2-14-24  
TEL042(644)3491 FAX042(648)6087  
(法座:隔月1回 お問い合わせ下さい)

**誓願寺** (せいがんじ) 〒193-0816  
八王子市大楽寺町209-5  
TEL042(651)0073 FAX042(651)6183  
(法座:第3木曜日・毎月10日大楽の集い)

**光照寺** (こうしょうじ) 〒192-0912  
八王子市絹ヶ丘3-8-1  
TEL042(635)3754  
(法座:不定期)

**本光寺** (ほんこうじ) 〒193-0832  
八王子市散田町4-40-10  
TEL042(664)2196 FAX042(663)2501  
(法座:仏教講座 第3金曜日)

**延立寺** (えんりゅうじ) 〒193-0802  
八王子市犬目町681  
TEL042(654)2429 FAX042(654)6930  
(法座:第4月曜日)

**大恩寺** (だいおんじ) 〒193-0943  
八王子市寺田町1085  
TEL042(668)0889 FAX042(668)1825  
(法座:第2土曜・第4日曜)

町田市

**圓成寺** (えんじょうじ) 〒194-0004  
町田市鶴間5-17-1  
TEL042(795)0181 FAX042(795)0444  
(法座:毎月28日)

(えんじょうじしゅっちょうしょ)  
**圓成寺出張所** 〒194-0035  
町田市忠生3-24-13  
TEL042(792)3007 FAX042(792)3006

(まちだふきょうしょ こうげんじ)  
**町田布教所 高源寺** 〒195-0063  
町田市野津田町2534-20  
TEL042(737)3236 FAX 同左  
(法座:第2土曜・23日前後の平日)

多摩市

**阿弥陀寺** (あみだじ) 〒206-0013  
多摩市桜ヶ丘1-24-2  
TEL042(375)8055 FAX042(337)4889  
(法座:年3回・毎月28日 明宝会・毎月15日前後  
極楽トンボ会)

稲城市

**玄忠寺** (げんちゅうじ) 〒206-0822  
稲城市坂浜878-6  
TEL042(331)3655 FAX042(350)1530  
(法座:第3日曜日)

(法座へお出かけの折には、必ず電話にて日時をご確認の上、お出かけ下さい。)